

おかえり、牛さん。
水田放牧実証はじまる
 6月7日、村内で福島県畜産研究所による牛の水田放牧実証試験が始まりました。村内の牧草地に直接牛を放牧するのは原発事故後初めてです。
 実証では、山田猛史さん（関根・松塚）が所有している水田に、避難先で飼育してきた繁殖牛6頭を10月頃まで放牧し、草を食べた量や、土壌や牛の血液中の放射性セシウム濃度などを調べます。また、牛が汚染度が高くなる他よりも高い水田畦畔の雑草などを食べないように畦畔そのものを除去したエリアと防草シ



▲畜産再生に向けた実証がはじまりました

トで覆ったエリアで効果の差異を確認するとともに、生産者が安定的に放牧できる方法を検証します。結果は、来年2月に公表される予定です。
 生い茂る牧草の中にある牛を見つめながら山田さんは、「やっ」と始まったという感じ。牛も伸び伸びとしているようで安心して。放牧のようすを見てもらい、営農再開の自信を持てる人が出てほしい」と希望を語りました。
水田放牧とは、肉用牛経営の省力化、耕作放棄地などの荒廃防止につながることから、特に中山間地域の活性化対策として注目されている飼養方法です。



▲5月1日、桜の花が残る中での小菊苗定植のようす

小菊産地を目指す
 5月1日、福島市内などで産地化が進んでいる高品質・高品種で市場評価が高い「小菊」の村内栽培を目的にした実証栽培が始まりました。これは、福島県農業総合センター浜地域農業再生研究センターの実証栽培で高野吉正さん（前田・八和木）が小菊の苗3,000株を村内の畑に定植しました。
 今回の苗はJAふくしま未来花き専門部会小菊班の部員が福島市内で育苗し、村に近い川俣町で気候に慣らしたもので、村のほ場では定植と芯止め作業を行いました。



▲小菊の生育は順調で、早ければ7月下旬には開花を迎えそうです

高野さんは、「本格的に来年度からやってみようという思いは、何とか花を咲かせたい」と抱負を語りました。

**子どもの頃から、歯が命！
 むし歯0の子表彰**

6月18日、3歳児健康診査でむし歯がなかった子を表彰する「むし歯0の子表彰」が子育て支援センターすくすくで行われました。当日参加した子どもたちには、ご褒美の表彰状と記念メダルが贈られました。

平成28年4月から平成29年3月末までに行われた3歳児健康診査でむし歯がなかった子は20人でした。



▲菅野村長から、子どもたちへご褒美が贈られました

**むし歯0を達成した親子の中から、
 2組をご紹介します**



花井 正美さん
 晴煌くん（伊丹沢）
 「はみがきを嫌がる時も親子でがんばってみがいています！」



菅野 千春さん
 大地くん（比曽）
 「夜の仕上げ磨きは、パパの出番！毎日みがきががんばってます」

子どものむし歯予防に大切なポイント

- ① おやつは時間を決めて！
 「だらだらおやつ」はやめましょう！
- ② 子どもはむし歯になりやすい！
 食べたらみがくの習慣をつけましょう！
- ③ はみがき終わりには、
 大人が必ず、仕上げ磨きを！



▲表彰式後には、楽しい遊びの教室が行われました

平成29年度 むし歯0の子表彰者

名前	性別	行政区
菅野 明日美	女	比曽
高野 芽衣	女	白石
花井 聡一郎	男	伊丹沢
佐藤 瑞葉	女	関根・松塚
森 絆貴	男	大久保・外内
佐藤 龍之介	男	伊丹沢
八巻 莉乃	女	草野

名前	性別	行政区
菅野 心乃香	女	草野
花井 晴煌	男	伊丹沢
佐藤 一華	女	上飯樋
佐藤 來駕	男	比曽
山田 陽香	女	伊丹沢
赤石 優大	男	大久保・外内
大滝 翔馬	男	八木沢・芦原

名前	性別	行政区
佐藤 娃彩	女	宮内
巻野 舞優	女	伊丹沢
佐藤 玲奈	女	前田
菅野 大地	男	比曽
花井 咲心	女	伊丹沢
佐藤 悠人	男	関沢

※表彰式に来られなかった方には、表彰状とメダルを郵送でお届けします。